

行事報告

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業—CIS 活動報告(インドネシア)

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業運営委員会 委員 菅哲男
接合科学研究所 客員教授

2015年度1ヶ国目のCIS(カップリングインターンシップ)が、インドネシア(ジャカルタ)で8月18日~9月1日の期間に開催されました。大阪大学 外国語学部2名、工学研究科2名、インドネシア大 人文学部2名、工学部2名の計8名の学生が参加しました。現地では2日間の事前研修を行い、企業理念やコミュニケーションの講義(講師:言語文化研究科の横江特任教授、原准教授)、溶接基礎知識の教育(VTR)、問題解決の実習などを学生は受講しました。20日からの6日間は、コマツインドネシア社(建機会社、小松製作所の子会社)で企業実習が実施されました。実習としては、会社説明(方針、組織、業務内容、安全管理など)を受けると共に、現場見学(油圧ショベル、油圧シリンダー)や、CIS

の課題に関する現場スタッフとの面談などを行いました。学生は、課題として「油圧シリンダーにおける生産効率の向上」を設定し、その課題対策について全力で取り組みました。最終日の31日には、コマツインドネシア社で、学生は課題の検討結果について発表しました。最終報告会には、コマツインドネシアの内倉ディレクター、インドネシア大学のレニ先生、大阪大学の横江特任教授、原准教授、菅客員教授ら計27名の参加があり、活発な意見交換が行われました。コマツインドネシアよりは、有益な改善策が提案されているとのコメントがありました。学生からはコミュニケーションの向上に大いに役立ったとの声もあり、グローバル対応のインターンシップとして大変有意義なものでした。

